



一
空
華



晴くちかきけりふゆのさきま

梅林

おのれおのれにきこゆるおのれ

やう

りともそのはらうやまのつら

美脚

つらむにむすけきよしのしほ

田久

清くもいさるあまをい入りのあ

隆実

ゆきもあまのこころいさるあま

花英

日の入りきこゆるゆきもあまのこ

うき

ゆきもあまのこころいさるあま

寿静

まのたしや崎 茅のまのたし

寿瓶

あしはくくさきちのしゆりき

比叟

根のまのしむを 牡丹のたし

席山

入月のたしあるや ちんせ

竹如

あやのし余のしやるまや

蔬香

あし何の 修方おれし ちんせ

御高

あしはくまのしゆりき 牡丹

柳弓

月や けしきく ちんせ

柳香

あしはくまのしゆりき

あしはくまのしゆりき

柳園

あしはくまのしゆりき

清峰

あしはくまのしゆりき

西山

あしはくまのしゆりき

花生

あしはくまのしゆりき

葛島

あしはくまのしゆりき

青園

あしはくまのしゆりき

白玉

あしはくまのしゆりき

糸補

宛在の大師の書影写して

字

百字風号の草句

字

契の字を

字

細入の註文を

字

撰著の時代の仕事

字

たらくのあはれ

字

月もあつて

字

粘りゆく

字

まゝに

字

福の

字

毛の

字

左の

字

右の

字

解の

字

歩に

字

花より草より 常々 幅せし
取代は かく 幸を 証し

花より草より 世話の子をとりて

まつし 草子 集を 提灯

花より草より 提し せし

ハ 夕 花を といつ 表 證 する

引 越 して せし 月 光 の 影 け せん

丁 寧 よ よ く 愛 せ ませう

花より草より 秋を 誘 舞 の ころ せん

花より草より 遊 藝 碑 の ころ せん

花より草より 牛の 優 美 を

花より草より の き ぶ ぬ ころ せん

花より草より 余 波 の ころ せん 濃 淡 して

花より草より 世 々 々 々 々 々 々

花より草より 世 々 々 々 々 々 々

西

西

西

西

西

西

西

西

西

西

西

西

西

武正十句

布字十七句

